

第3回笠松町議会定例会議決結果（9月1日開会、9月19日閉会）

第41号 笠松町こども館条例
子育て支援センターの一部業務と児童館の機能をまとめ、地域の子育て支援の充実と、よりきめ細やかな子育てサービスを提供する新たな施設としてスタートするにあたり、新規条例を制定

第42号 岐阜市及び笠松町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議
近隣市町と連携し行政サービスや地域活性化などの推進を目的に、国の連携中枢都市圏構想推進要綱に規定する連携協約を岐阜市と締結するため、地方自治法第252条の2第3項の規定に基づき議会の議決を経るもの。

第43号 円城寺雨水調整池整備工事請負契約の締結
契約の金額 金 294,840,000円
契約の相手方 岐阜県岐阜市宇佐南1丁目3番11号大日本・加藤特定建設工事共同企業体

第44号 下門間污水幹線・北及污水幹線管渠埋設工事請負契約の締結
契約の金額 金 124,740,000円
契約の相手方 株式会社加藤組

第45号 新学校給食センター配膳器具等の売買契約の締結
契約の金額 金 15,984,000円
契約の相手方 岐阜アイホー調理機株式会社

第46号 新学校給食センター給食用備品等の売買契約の締結
契約金の額 金 10,476,000円
契約の相手方 岐阜アイホー調理機株式会社

第47号 平成29年度笠松町一般会計補正予算（第3号）
補正額 194,788,000円
補正後歳入歳出予算額 6,901,507,000円

[主な補正内容]

- 春日東陽常盤町町内会に対する地区集会所改修補助金を増額
- 住民票やマイナンバーカードなどに旧姓を併記することができるよう、住民記録システムなどの改修費用を増額
- 岐阜地域児童発達支援センターの利用者増に伴い負担金を増額
- 平成28年度障害者自立支援給付費などの国・県負担金の精算に伴い返還金を増額
- 自立生活援助・就労定着支援の創設、補装具費の支給範囲の拡大などに伴い、障害者自立支援受給者証発行システムと請求支払システムの改修費用を増額
- 平成28年度福祉医療費助成事業補助金の精算に伴い返還金を増額

●町の依頼に基づき笠松町土地開発公社が先行取得している土地を買い受けるための土地購入費用を増額

●前年度繰越金を財政調整基金に積み立てるため積立金を増額

第48号 平成29年度笠松町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
補正額 530,000円
補正後歳入歳出予算額 3,183,053,000円

[主な補正内容]

- 平成29年度国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金（国庫補助金）の交付決定に伴う財源内訳補正
- 平成28年度退職者医療療養給付費等交付金の精算に伴い返還金を増額

第49号 平成29年度笠松町介護保険特別会計補正予算（第2号）
補正額 73,644,000円
補正後歳入歳出予算額 1,887,331,000円

[主な補正内容]

- 平成28年度事業精算に伴い、国・県・社会保険診療報酬支払基金に対する返還金、一般会計繰出金、介護保険基金積立金を増額

第50号 平成28年度笠松町一般会計歳入歳出決算認定
歳入総額 7,883,952,356円
歳出総額 7,450,865,984円
差引残額 433,086,372円

第51号 平成28年度笠松町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
歳入総額 3,130,476,012円
歳出総額 3,018,849,998円
差引残額 111,626,014円

第52号 平成28年度笠松町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
歳入総額 249,949,218円
歳出総額 249,302,162円
差引残額 647,056円

第53号 平成28年度笠松町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
歳入総額 1,791,071,108円
歳出総額 1,717,119,351円
差引残額 73,951,757円

第54号 平成28年度笠松町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
歳入総額 1,023,916,579円
歳出総額 997,196,140円
差引残額 26,720,439円

第55号 平成28年度笠松町水道事業会計決算の認定並びに剰余金の処分（第50号から第55号までは、4～6ページ参照）
[すべて可決]

収益的収入	277,838,032円
収益的支出	210,072,278円
差引額	67,765,754円
資本的収入	33,235,920円
資本的支出	124,043,376円
差引額	△90,807,456円

【報告】

- 平成28年度笠松町健全化判断比率の報告（7ページ参照）
- 平成28年度笠松町資金不足比率の報告（7ページ参照）

町議会が行政視察を実施

10月4日から6日にかけて、笠松町議会が行政視察を実施しました。

近年多発する災害への対策として、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県淡路市と平成26年の集中豪雨で多大な浸水被害を受けた丹波市を訪問しました。災害時の対応や問題点について実体験を交えてお話しいただき、住民の自助・共助とそれを支える行政との連携による地域防災力強化の取り組みを学びました。両市とも震災からの復興にとどまらず、震災を機に新しいまちづくりを計画的に進める力強い姿勢を感じました。

また、地域資源を活用した町おこしの先進地として、兵庫県豊岡市の出石まちづくり公社と京都府与謝郡伊根町を訪問しました。住民による観光促進事業が発展して設立された出石まちづくり公社は、城下町の風情ある町並みの整備と共に新しい催しを次々と展開しており、空き店舗を利用したカフェや小売店の賑わいに、民間のエネルギーと発想を生かした町の活性化策を見ることができました。また、若狭湾に面した港町伊根町では、伝統的建造物「舟屋」の連なる歴史と自然の調和する景観を見学し、官民が連携して町の地域資源を守り発展させていく取り組みを学ぶことができました。

知恵と活力のあふれるまちを訪問し、それを支える方々の声を直接聞くことができ、今後の笠松町の発展を考える貴重な視察研修となりました。



淡路市野島断層保存館見学



丹波市役所で研修



出石の街並み見学



伊根町役場で研修